

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年12月26日

**【四半期会計期間】** 第66期第1四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

**【会社名】** 株式会社 A . C ホールディングス

**【英訳名】** A . C HOLDINGS Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 金井 壮

**【本店の所在の場所】** 東京都港区芝大門一丁目2番1号

**【電話番号】** 03(5473)7722

**【事務連絡者氏名】** 経理事務連絡担当 平林 友伸

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区芝大門一丁目2番1号

**【電話番号】** 03(5473)7722

**【事務連絡者氏名】** 経理事務連絡担当 平林 友伸

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年2月14日に提出いたしました第66期第1四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移
- 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
  - (1) 業績の状況
  - (2) 財政状態の分析

#### 第5 経理の状況

- 2 監査証明について
  - 1 四半期連結財務諸表
    - (1) 四半期連結貸借対照表
    - (2) 四半期連結損益計算書
    - (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
    - (10) 注記事項
      - (1 株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 企業情報

## 第1 企業の概況

## 1 主要な経営指標等の推移

(訂正前)

回次	第65期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第66期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第65期
会計期間	自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日
売上高 (千円)	823,823	770,976	2,804,993
経常損失( ) (千円)	193,288	152,607	520,165
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	580,196	286,633	844,012
純資産額 (千円)	7,899,549	7,903,288	7,638,878
総資産額 (千円)	8,988,164	9,057,896	8,752,981
1株当たり純資産額 (円)	195.33	195.42	188.88
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( ) (円)	14.35	7.09	20.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	87.9	87.3	87.3

(訂正後)

回次	第65期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第66期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第65期
会計期間	自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日
売上高 (千円)	823,823	770,976	2,804,993
経常損失( ) (千円)	193,288	152,607	513,322
四半期(当期)純損失( ) (千円)	580,196	140,532	837,169
純資産額 (千円)	8,280,061	7,903,288	8,042,351
総資産額 (千円)	9,368,676	9,057,896	9,156,454
1株当たり純資産額 (円)	204.74	195.42	198.86
1株当たり四半期(当期) 純損失金額( ) (円)	14.35	3.47	20.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	88.4	87.3	87.8

#### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (1) 業績の状況

(訂正前)

<省略>

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高7億70百万円(前年同四半期売上高8億23百万円)、営業損失91百万円(前年同四半期営業損失1億74百万円)、経常損失1億52百万円(前年同四半期経常損失1億93百万円)、四半期純利益2億86百万円(前年同四半期四半期純損失5億80百万円)となりました。

四半期純利益につきましては、関係会社株式に対する持分法過年度修正益4億27百万円が主な要因であります。

(訂正後)

<省略>

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高7億70百万円(前年同四半期売上高8億23百万円)、営業損失91百万円(前年同四半期営業損失1億74百万円)、経常損失1億52百万円(前年同四半期経常損失1億93百万円)、四半期純損失1億40百万円(前年同四半期四半期純損失5億80百万円)となりました。

##### (2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円増加し90億57百万円となりました。流動資産は3億46百万円増加し41億8百万円、固定資産は41百万円減少し49億49百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、仮差押が解除されたことに伴い、預け金が5億67百万円増加し、一方、現金及び預金が1億89百万円減少したことによります。

固定資産は、関係会社株式が3億22百万円、長期貸付金が2億18百万円増加したのに対し、仮差押の解除による減少5億67百万円があったため、全体として減少となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し90億57百万円となりました。流動資産は3億46百万円増加し41億8百万円、固定資産は4億44百万円減少し49億49百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、仮差押が解除されたことに伴い、預け金が5億67百万円増加し、一方、現金及び預金が1億89百万円減少したことによります。

固定資産は、長期貸付金が2億18百万円増加したのに対し、仮差押の解除による減少5億67百万円があったため、全体として減少となりました。

## 第5 経理の状況

### (訂正前)

#### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてはフロンティア監査法人による四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

### (訂正後)

#### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表についてはフロンティア監査法人による四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年10月1日から平成22年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばの監査を受けています。

1 四半期連結財務諸表  
( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
投資その他の資産		
関係会社株式	980,493	657,549
長期貸付金	386,300	168,300
長期未収入金	1,169,350	1,162,604
破産更生債権等	1,923,887	1,923,799
仮差押	-	567,892
その他	699,487	286,282
貸倒引当金	2,803,504	2,374,398
投資その他の資産合計	<u>2,356,015</u>	<u>2,392,031</u>
<b>固定資産合計</b>	<u>4,949,277</u>	<u>4,990,529</u>
<b>資産合計</b>	<u>9,057,896</u>	<u>8,752,981</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	11,769,273
利益剰余金	593,844	6,998,940
自己株式	604,076	604,076
<b>株主資本合計</b>	<u>7,952,890</u>	<u>7,666,256</u>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	25,376	27,377
土地再評価差額金	6,153	-
為替換算調整勘定	18,072	-
<b>評価・換算差額等合計</b>	<u>49,601</u>	<u>27,377</u>
<b>純資産合計</b>	<u>7,903,288</u>	<u>7,638,878</u>
<b>負債純資産合計</b>	<u>9,057,896</u>	<u>8,752,981</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
投資その他の資産		
関係会社株式	980,493	1,061,022
長期貸付金	386,300	168,300
長期未収入金	1,169,350	1,162,604
破産更生債権等	1,923,887	1,923,799
仮差押	-	567,892
その他	699,487	286,282
貸倒引当金	2,803,504	2,374,398
投資その他の資産合計	<u>2,356,015</u>	<u>2,795,504</u>
固定資産合計	<u>4,949,277</u>	<u>5,394,002</u>
資産合計	<u>9,057,896</u>	<u>9,156,454</u>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	11,769,273
利益剰余金	593,844	<u>6,571,775</u>
自己株式	604,076	604,076
株主資本合計	<u>7,952,890</u>	<u>8,093,421</u>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	25,376	<u>27,456</u>
土地再評価差額金	6,153	<u>6,153</u>
為替換算調整勘定	18,072	<u>17,460</u>
評価・換算差額等合計	<u>49,601</u>	<u>51,069</u>
純資産合計	<u>7,903,288</u>	<u>8,042,351</u>
負債純資産合計	<u>9,057,896</u>	<u>9,156,454</u>

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間  
( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成22年12月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40,758	16,100
持分法過年度修正益	-	427,165
前期損益修正益	1,702	103
その他	1,038	5,046
特別利益合計	43,499	448,415
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 ( )	573,782	293,007
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	580,196	286,633

( 訂正後 )

( 単位 : 千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成22年12月31日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40,758	16,100
前期損益修正益	1,702	103
その他	1,038	5,046
特別利益合計	43,499	21,250
税金等調整前四半期純損失 ( )	573,782	134,158
四半期純損失 ( )	580,196	140,532

( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 ( )	573,782	<u>293,007</u>
持分法過年度修正益	—	<u>427,165</u>

( 訂正前 )

( 単位 : 千円 )

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月 1 日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 ( )	573,782	<u>134,158</u>

(10) 注記事項

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年9月30日)
1株当たり純資産額 195.42円	1株当たり純資産額 188.88円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 14.35円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 7.09円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	580,196	286,633
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失( )(千円)	580,196	286,633
期中平均株式数(千株)	40,442	40,442

(訂正後)

## 1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)		前連結会計年度末 (平成22年9月30日)	
1株当たり純資産額	195.42円	1株当たり純資産額	198.86円

## 2. 1株当たり四半期純損失金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	14.35円	1株当たり四半期純損失金額	3.47円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在していないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失( )(千円)	580,196	140,532
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失 ( )(千円)	580,196	140,532
期中平均株式数(千株)	40,442	40,442

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月20日

株式会社A.Cホールディングス  
取締役会 御中

監査法人 まほろば

指定社員 公認会計士 土屋 洋 泰 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 赤坂 知 紀 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社A.Cホールディングスの平成22年10月1日から平成23年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社A.Cホールディングス及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。